※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	第１学年	啓林館『ELEMENT English Communication I』 駿台『システム英単語』

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの授業は、「聞くこと」「話すこと(やり取り、発表)」「読むこと」「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え等について話したり書いたりする言語活動を多く行います。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・日常生活の身近な話題についての情報をネイティブスピーカーによって、はっきりと話されたら、聞き取ることができる。	・英語の文章について複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ・メールや手紙など短く簡単な文章や、絵本などの物語であれば、内容を理解することができる。	・その場で、身近なテーマに対する質問に英語で答えることができる。	・事前準備を経て身近なテーマやニュースについて自分の意見を英語で述べることができる。	・身近な場面で起こったことについて日記などで書くことができる。 ・自分の意見や考え、出来事の描写などを簡単な英語で書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	ⓐ 知識・技能	ⓑ 思考・判断・表現	ⓒ 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・読んだり聞いたりした内容について理解している。 ・主な文法事項やストーリーに込められているメッセージを理解している。	・読んだり聞いたりした内容について、自分の言葉で話したり書いたりしている。 ・読んだり聞いたりした内容に対して、自分の意見や発想を読んだり書いたりしている。	・リスニングやリーディングに積極的に取り組もうとしている。 ・ペアワークや発表で積極的に話したり、自分の意見や発想を共有している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	**Lesson 1** Intercultural Relationships （９時間）	〈聞くこと〉	ⓐ英語の音声の特徴（強弱アクセント・イントネーション・繋がり）を理解している。 ⓑ日常的な話題（ペットを友人に預ける際の注意点）について、必要な情報を聞き取る。 ⓒ身近な話題（日本文化紹介計画）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	・観察 ・リスニングテスト
		〈読むこと〉	ⓐ必要な文法事項（受動態・不定詞・完了形等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本文（「Scidmore’s Cherry Trees」「Christian the Lion」）を読んで、概要を捉えている。 ⓒ単元の本文（「Scidmore’s Cherry Trees」「Christian the Lion」）を読んで、概要を捉えようとしている。	・ペーパーテスト
		〈話すこと［発表］〉	ⓐ必要な文法事項（受動態・不定詞・完了形等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本題（ワシントンの桜・ペットとして飼われたライオン）の内容についてリテリングを行っている。 ⓒ単元の本題（ワシントンの桜・ペットとして飼われたライオン）の内容についてリテリングを行おうとしている。	・観察 ・机間指導 ・スピーキングテスト
	Lesson 2 Love Beyond Species （９時間）	〈話すこと［やり取り］〉	ⓐ身近な話題（日本を象徴する贈り物や理想のペット等）の必要な情報を理解している。 ⓑ身近な設定（ペットを飼いたい子どもと反対する親等）でロールプレイを行っている。 ⓒ身近な設定（ペットを飼いたい子どもと反対する親等）で、相手に配慮しながら意見を伝えようとしている。	・スピーキングテスト
		〈書くこと〉	ⓐ受動態・不定詞・完了形等の意味や使い方を理解している。 ⓑ身近な話題について必要な語句や文を用いて書いている。 ⓒ身近な話題について必要な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	・提出物 （要約） （英作文、要約） ・ペーパーテスト
	中間考査			
	Lesson 3 Contributing to Our Planet （９時間）	〈聞くこと〉 〈読むこと〉	ⓐ英語の音声の特徴（消える音・弱くなる音・短縮形）を理解している。 ⓑ日常的な話題（使い捨てのビニール袋とエコバッグのメリット・デメリット等）について、必要な情報を聞き取る。 ⓒ身近な話題（博物館を訪れた生徒への諸注意等）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	・観察 ・リスニングテスト
			ⓐ必要な文法事項（関係代名詞・使役動詞・知覚動詞等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本文（「Bye Bye Plastics」「Twice Bombed・ Twice Survived」）を読んで、概	・ペーパーテスト

※令和４年度以降入学生用

			要を捉えている。 ⓒ単元の本文（「Bye Bye Plastics」「Twice Bombed・ Twice Survived」）を読んで、概要を捉えようとしている。	
	Lesson 4 Messages for World Peace （９時間）	〈話すこと［発表］〉	ⓐ必要な文法事項（関係代名詞・使役動詞・知覚動詞等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本題（使い捨てプラスチックを無くす運動・山口彊のメッセージ）の内容についてリテリングを行っている。 ⓒ単元の本題（使い捨てプラスチックを無くす運動・山口彊のメッセージ）の内容についてリテリングを行おうとしている。	・観察 ・机間指導 ・スピーキングテスト
		〈話すこと［やり取り］〉	ⓐ身近な話題（本校で行っている石川大清掃や大阪の戦跡等）の必要な情報を理解している。 ⓑ身近な設定（富田林を綺麗にする運動に他人を参加させようとしている等）でロールプレイを行っている。 ⓒ身近な設定（留学生に富田林のボランティア活動に参加するように誘う等）で、相手に配慮しながら意見を伝えようとしている。	・スピーキングテスト
		〈書くこと〉	ⓐ英語の必要な語彙（環境問題や戦争関係等）の意味や使い方を理解している。 ⓑ身近な話題について必要な語句や文を用いて書いている。 ⓒ身近な話題について必要な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	・提出物 （要約・英作文） ・ペーパーテスト
	期末考査			
後期	**Lesson 5** Respecting Each Other （９時間）	〈聞くこと〉	ⓐ日常的な語彙（野球用語等）の意味を理解している。 ⓑ日常的な話題（学校での問題に対する会話等）について、必要な情報を聞き取る。 ⓒ身近な話題（ニュース放送等）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	・観察 ・リスニングテスト
		〈読むこと〉	ⓐ必要な文法事項（関係代名詞の what・関係副詞・関係代名詞の非限定用法等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本文（「Nobody’s Perfect」「The Power of Words」）を読んで、概要を捉えている。 ⓒ単元の本文（「Nobody’s Perfect」「The Power of Words」）を読んで、概要を捉えようとしている。	・ペーパーテスト
		〈話すこと［発表］〉	ⓐ必要な文法事項（関係代名詞の what・関係副詞・関係代名詞の非限定用法等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本題（許す事の大切さ・言葉の力）の内容についてリテリングを行っている。また、自分の好きな小説や漫画について発表している。 ⓒ単元の本題（許す事の大切さ・言葉の力）の内容についてリテリングを行おうとしてい	・観察 ・机間指導 ・スピーキングテスト

※令和４年度以降入学生用

			る。また、自分の好きな小説や漫画について発表しようとしている。	
	Lesson 6 Language and Culture （９時間）	〈話すこと［やり取り］〉	ⓐ身近な話題（自分または友達が間違いをしてしまった時や人気のあるフィクション等）の必要な情報を理解している。 ⓑ身近な設定（友達が自分に酷い事をしてしまった場合等）でロールプレイを行っている。 ⓒ身近な設定（友達にオススメなフィクションを紹介する等）で、相手に配慮しながら意見を伝えようとしている。	・スピーキングテスト
		〈書くこと〉	ⓐ英語の必要な語彙（ストーリーの舞台・登場人物・あらすじを説明するフレーズなど）を理解している。 ⓑ身近な話題（海外の友達に日本の小説や漫画を勧める等）について必要な語句や文を用いて書いている。 ⓒ身近な話題（海外の友達に日本の小説や漫画を勧める等）について必要な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	・提出物 ・ペーパーテスト
	中間考査			
	Lesson 7 Technology and Discoveries （９時間）	〈聞くこと〉	ⓐ英語の音声の特徴（地域によって異なる発音）や日常的な語彙（理科で使う道具等）を理解している。 ⓑ日常的な話題（学校内の理化学イベント等）について、必要な情報を聞き取る。 ⓒ身近な話題（人権を守る試みについての会話等）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	・観察 ・リスニングテスト
		〈読むこと〉	ⓐ必要な文法事項（形式主語の it・be 動詞の補語になる that 節・仮定法過去及び過去完了等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本文（「Serendipity」「Playing the Enemy」）を読んで、概要を捉えている。 ⓒ単元の本文（「Serendipity」「Playing the Enemy」）を読んで、概要を捉えようとしている。	・観察 ・授業プリント ・ペーパーテスト
	Lesson 8 Standing Up for Human Rights （９時間）	〈話すこと［発表］〉	ⓐ必要な文法事項（形式主語の it・be 動詞の補語になる that 節・仮定法過去及び過去完了等）の意味や働きを理解している。 ⓑ単元の本題（偶然の発見・人権を守る大切さ）の内容についてリテリングを行っている。 ⓒ単元の本題（偶然の発見・人権を守る大切さ）の内容についてリテリングを行おうとしている。	・机間指導 ・スピーキングテスト
		〈話すこと［やり取り］〉	ⓐ身近な話題（歴史上、重要な発明等）の必要な情報を理解している。 ⓑ身近な設定（自分が一番重要だと思っている発明品を友だちと伝え合う等）でロールプレイを行っている。 ⓒ身近な設定（大阪に住む外国人たちの人権を	・観察 ・机間指導 ・スピーキングテスト

※令和４年度以降入学生用

			守るためにできる事を考える等）で、相手に配慮しながら意見を伝えようとしている。	
		〈書くこと〉	ⓐ英語の必要な語彙（理化学や人権に関する用語）を理解している。 ⓑ身近な話題（歴史上、一番偉大な発明家だと思っている人物を紹介す等）について必要な語句や文を用いて書いている。 ⓒ身近な話題（富田林・日本では人権に関する状況はどのように変わったか等）について必要な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	・提出物 ・ペーパーテスト
	期末考査			

※　評価方法ついて　ⓐ:知識・技能　ⓑ:思考・判断・表現　ⓒ:主体的に学習に取り組む態度